



鈴木牧之 (1770-1842)

生涯をかけて雪国を紹介した 鈴木牧之

月尾 嘉男
(東京大学名誉教授・工学博士)

現在以上の
豪雪地帯

川端康成の名作「雪国」の冒頭の「国境の長いトンネルを抜ける」と雪国であった」という名文から連想されるのは白銀の幻想世界です。この清水トンネルを筆写も列車で通過したことがありますが、景色が一変すること感動した記憶があります。しかし、今年一月に新潟県内の信越本線で、大雪のために列車が一五時間以上も停車した事件が象徴するように、社会基盤が整備された現代においても、雪国の生活は安易なものではありません(図1)。

塩沢宿に誕生した異才

現在の群馬県高崎市と新潟県長岡市を連絡する三国街道があります。戦国時代には上杉謙信が関東へ遠征するときに通過し、江戸時代には、長岡藩、与板藩、村松藩など越後の諸藩が参勤交代にも利用した日本海側と太平洋側を接続する重要な道路です。当時は出発地点の高崎宿から到達地点の寺泊宿まで三五の宿場がありました。その二番目宿が塩沢宿(南魚沼市塩沢町)です(図2)。現在でも街道の両側に往時の街並が維持されています。

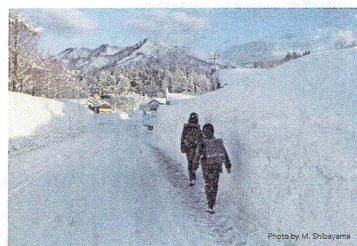


図1 雪国の生活(新潟県三条市)



図2 三国街道



図3 高崎宿(木曾街道六十九次:歌川広重)

徳昌寺の虎斑禪師から詩作を教授される機会がありました。さらには隣宿である六日町宿に逗留していた絵師の狩野梅笑から絵画の手習をするこもできました。生来、手先が器用であったこともあり、書画の表装や家具の修理も自分でこなし、地方にありながら、高度な教養をもつ文人でした。

しかし父親から家業を継承してからは、文芸に耽溺することなく、昼間は俳諧や詩作をせず、商売に邁進します。日常生活では粗衣粗食、壮年の時期から禁酒をして生涯飲酒することもなく、結果、家業は繁栄しますが、蓄財一方ではなく、公共の事業にも寄付をするなど地域にも貢献しています。一九歳になった一七八八年に塩沢宿八〇反を販売するため、最初の江戸への旅行をしますが、ここで人生が転換します。

江戸の青空の衝撃

塩沢宿から南下して三国街道の最高地点である三国峠を通過し、終点の高崎宿(図3)から東海道とともに東西を連絡する主要な街道の中山道を利用して江戸に到着しました。当時の江戸は人口七〇万人程度で、九〇万人の北京よりは少数でしたが、世界二位の巨大都市で、その繁栄に圧倒されるとともに、驚嘆

したのは江戸の青空でした(図4)。一年の半分以上を灰色の雪雲を見上げて生活する越後からは想像できない風景だったのです。

悪戦苦闘の出版

しかし、そのような逆境が出

東京書籍 TEL.03-5390-7531 FAX.03-5390-7538 https://www.tokyo-shoseki.co.jp

政策立案の第一人者竹中平蔵氏、Eテレ・NHK・BS11のテレビ番組が、現代の経済学を伝えるための「竹中平蔵」の誕生。

竹中平蔵×大竹文雄

たえば経済を知るとお金持ちになれますか?

経済学は役に立ちますか?

大竹文雄 竹中平蔵

東京書籍 中央区日本橋小坂馬町9-10 http://www.rironsha.com/ TEL.03-6264-8890 FAX.03-6264-8892

江國香織 柳生まち子 絵

江國香織が20代に次々発表した、みずみずしい短編童話35作品。

「チューク」「草之巻の巻」「いつか、ずっと昔」などが収められたデビュー作「つめたくなる」をはじめとした、初期の童話集「繪菓子」「藍かなお血」の3冊の作品集27点と、初期の短編多数を収録、江國香織ワールドがまるごと詰まった一冊。

定価(本体1600円+税) B6判/上製 320ページ/対象:小・中学生から

理論社 中央区日本橋小坂馬町9-10 http://www.rironsha.com/ TEL.03-6264-8890 FAX.03-6264-8892

ちばてつや 18年ぶりの新作!!

幼い頃に見た清洲の夕焼け、人々の節目に出てきた素晴らしの人々、不器用に苦しむ人々……

「あしたのジョー」の著者がオールカラーで描く、わくわくして切ない半生記。

ちばてつや ひねもすのたり日記

第1集 発売中!!

定価(本体1,111円+税) 小学館

オールカラー 128ページ!!

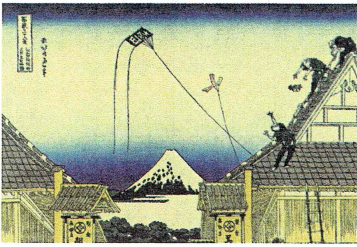


図4 江戸の青空 (富嶽三十六景：葛飾北斎)

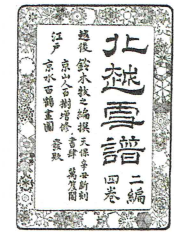


図5 「北越雪譜」(二編)



図6 吹雪の猛威

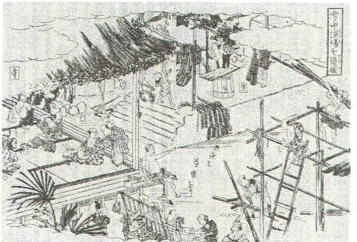


図7 雪中の楚眉

版の意欲を後押ししたのかもれません。商家にも順調になった二九歳のとき、江戸で面識のあった浮世絵師で作家でもある高名な山東京伝に出版の斡旋を依頼する手紙を送ります。意外にも京伝からは快諾の返事があり、即座に文章と挿画の原稿を引受ける版元から、百両の資金が必要であると連絡がきたのです。現在の金額に換算すると一〇〇〇万円にもなる大金です。

商家が順調とはいえず、地方の商家には簡単に工面できるような金額ではなく、この計画は消滅してしまいます。しかし、執念をもつ牧之は京伝の弟子である読本作家の滝沢馬琴に相談します。葛飾北斎が挿絵を担当した『権説弓張月』やライフワークとなる『南総里見八犬伝』の出版以前でしたが、実力のある作家でした。しかし、馬琴は師匠の京伝と仲違いしていた最中のため、京伝が関係する仕事には口出しできないと辞退しました。しばらくは中断していましたが、三八歳になった一八〇七年に父親が死亡したことを契機として、再度出版に挑戦します。今度は『絵本太閤記』の挿絵画家で大坂在住の岡田玉山に依頼したところ、解され、版元も決まりました。ところが翌年、その玉山が急逝し、またしても立消えになってしまいます。それでも牧之は断念せず、一八一二

年に今度は江戸の有名画家の鈴木芙蓉と契約しますが、不幸なことに翌年、芙蓉も死亡してしまいます。

しかし強固な意志をもつ牧之が出版の方策を模索していたところ、一八一七年になり、かつては京伝との師弟関係を口実に引受けなかった馬琴から、京伝が死亡したので「滝沢馬琴著・鈴木牧之校訂」であれば引受けるとの連絡がありました。不利な条件ではあるものの、出版できれば十分と大喜びした牧之は追加の取材などで増補した資料を送りますが、すでに著名な流行作家が多忙になっていた馬琴からは連絡がないままでした。そのような時期の一八二九年に京伝の弟の京山から「鈴木牧之著・山東京山校訂」という条件で刊行を手伝うとの連絡がありました。すでに依頼してある馬琴への手前、躊躇しますが牧之にとっては絶好の条件でした。さらに五九歳になって両耳とも難聴になっていたこともあり、馬琴の了解をとって自身も執筆を開始します。途中で牧之は中風になりますが、原稿を完成し、六七歳になった一八三七年に『北越雪譜』初編三巻が刊行されました。

最初に決意してから五〇年弱も次々と襲来する難関を突破して実現した大作ですが、この出版で牧之の執念は終了することなく、すでに両耳は難聴、中身の影で両目の視力を消失、身体も外出のできない状態になったにもかかわらず続編を執筆し、初編の出版から四年が経過した一八四一年、二編四巻からなる続編が刊行されました(図5)。

さらに三編と四編の執筆にも意欲がありましたが、一八四二年に七三歳で逝去し実現しませんでした。

雪国を紹介したバストセラ

七巻全体で現在の活字にして約三〇〇ページの文章と四〇枚の図版により構成されていますが、牧之の本来の意図からすれば未完の書物ということになります。その内容も整然と分類されているわけではなく、自然現象から、雪中の寒行や雪中の葬儀などの生活風俗、さらには鮭漁や機織などの地場産業、有名無名の越後の人物紹介など一三項目になり、雪国百科辞典と表現できる内容です。

現在も岩波文庫で入手可能ですが、詳細な図鑑としての役割として、いくつが興味ある内容を紹介します。牧之が都会の人々に認識してほしかった雪国の困難が雪吹です。ある夫婦が赤子とともに親里を訪問したところ、晴天であった往路から一変して帰路は雪吹となり、赤子は無事でしたが、夫婦は凍死したという悲話で紹介され、雪国では気象の激変が頻発していることとともに、遭遇した場合の対処方法も説明しています(図6)。

多く紹介されています。害鳥の被害から田畑を防御する祈願のための鳥追行事は全国各地にありましたが、雪国では雪で四角の櫓を構築し、頂上の四隅に松竹を飾り、子供が鳥追歌を歌う行事や、まだ雪深い二月か三月に雪で簡易な舞台や客席を構築し、地元の人々が役者として芝居をする雪中劇場も紹介されています。しかも吹雪のときには天候が回復するまで延期するという長閑な興行でした(図7)。

前述のように、牧之が生涯を駆け苦辛憐憫して執筆、出版した背景には、江戸と地方に存在する生活や自然の格差を社会に紹介したいという熱意があり、また、著者は馬琴、実質の著者である牧之は校訂という立場でしたし、京山との共同事業として出版が決定してからも、京山と京水の親子が塩沢を訪問し、牧之は二人を約五〇日も接待しています。それでも出版に邁進したのは、雪国を紹介したいという一途の執念でした。

江戸時代は諸藩による地方分権で社会は維持されていました。それでも江戸と各地には上述のような格差がありました。明治時代になり中央集権になったから、牧之が紹介したような地域の独自の文化が消滅していく一方、人口や経済などの量的な格差が急速に拡大してきました。『北越雪譜』を現在では



見当たらなくなった雪国の自然や文化の貴重な記録としてだけではなく、格差の記録として理解することも意味があります。

一八八二

◆参考：鈴木牧之の編撰・京山人 百樹冊定・岡田武松校訂『北越雪譜』(岩波クラシックス) 一九八二

晶文社

子どもの人権をまもるために

木村草太編

虐待や貧困など、子どもたちが直面する問題とその解決のために今できることは何か。気鋭の憲法学者が各分野の専門家と編んだ緊急提言集。 税込1836円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-1
Tel. 03-3518-4940 http://www.shotunsha.co.jp

幕末のジャンヌ・ダルク

歴史物語

新島八重の生涯

吉村康著

幕末から明治にかけての日本の黎明期を先駆的に生きた会津の女性「新島八重」の生涯。

三頁四角判・縦編 七二六円

歴史春秋社

〒985-0842 福島県会津若松市甲府大道路8-1
0242(26)65674・A0242(27)8110 http://www.shinshu-sha.co.jp
ご注文はTEL・FAX又はホームページから

4月号

3月15日発売

定価600円(本体556円)

望星

特集

黄身恋し、白身も恋し

～和食探偵、卵に挑む～

「巨人・大鵬・卵焼き」の時代から、卵は老若男女に愛され続けています。いま完全食品として注目を浴びている卵。その魅力とはいかなるものか。そして日本人と卵の関係は？

江戸の料理本「卵百珍」の魅力……………山本和明
卵と日本人の深い関係……………八田一
スッキリした後味が和食に合う…和食のたまご本舗
アフター たまごふわふわ……………卓川菜莉
「ソノタマゴ」……………佐藤智之
これ、ホンマにカンボジアにおもたかお……………佐藤智之
(湘南河原版) 1冊1,200円(税別)

半歌仙「ほめられず音にもされないナメコ」巻一
小島ゆかり・社原 隆・長谷川耀

三山 喬著 定価(本体2300円+税)

好評発売中!

一寸のパンの虫

この国の「まっとうなジャーナリズム」は生き残れるのか? 現場から見た「メディア危機」の実態!

三山 喬著 定価(本体2300円+税)

TEL:03(3227)3700 FAX:03(3227)3701 http://www.tokai.edu.co.jp/bosel/

TEL:0463(58)7811 FAX:0463(58)7833 http://www.press.tokai.ac.jp/